

学校名	福島市立大笹生小学校	校長名	江口 隆広		
住 所	福島市大笹生字緑田1番地	児童生徒数	97名	学級数	6
T E L	024-557-6103	ホームページアドレス	なし		

少人数のよさを生かした指導方法の工夫・改善 ～進んで考え、伝え、高め合う児童の育成～

1 少人数教育の計画等

本校は1学級の児童数が7人から27人と幅広い人数構成をもつ6学級の小規模校である。県の少人数教育充実のための4つの視点を基本に、今年度は国語科を中心に、少人数のよさを生かしながら『進んで考え、伝え、高め合う児童の育成』を目指した教育活動を推進している。

少人数指導を充実させるために、国語科において次の3点に視点をあて、少人数のよさを生かした対話・交流を取り入れた授業づくりに取り組んでいる。

- 自分の考えをもたせる工夫
- 対話、交流の場の設定
- 新たに自分の考えを見つめ直し、思考を深めさせる活動の工夫

2 実践の概要（3学年 7名）

(1) 単元名 物語のあらすじをとらえよう「ゆうすげ村の小さな旅館」

(2) 単元のねらい

物語の「しかけ」について理解し、「しかけ」の言葉や文の理由を考えながら探し、おもしろさを味わい、あらすじにまとめるために生かそうとすることができる。

(3) 授業の実際

手立て	少人数指導を生かすための配慮
<p>① 自分の考えをもたせる工夫 (教材との対話)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大事な言葉にサイドラインを引かせたり、机間指導で個に応じた支援を行ったりしながら、その理由も併せてノートに書き込ませる。 <p>② 対話、交流の場の設定 (友だちとの対話、交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ペアでお互いの考えを聞き合い、それぞれが自分の考えを再思考した後、全体で思考を吟味・共有する。 <p>③ 新たに自分の考えを見つめ直し、思考を深めさせる活動の工夫 (自分との対話)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達との交流で変容したことをノートにまとめ、学習の振り返りを行い、思考を深める。 	<p>① 個に応じた指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 机間指導で一人一人のノートを見取り、丸を付けたり、添削することで意欲の向上を図った。 ・ 常に子供たちを称賛し、自信を付けさせるとともに支持的風土の醸成を図った。 <p>② 学び合い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意図的なペアにするために席替えし、話す相手が固定しないようにした。 ・ 子供たちだけで話し合いができるよう、話の仕方を身に付けさせるための時間や場を設定した。 <p>③ 思考の吟味</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達との交流の場を設け、よさを認め合い、相手に伝える喜びを味わうことができるように支援した。 ・ 子供たちの思いや願いに応じて、幼稚園で読み聞かせ会を行うようにした。子供たちに相手意識や目的意識をもたせ、それを把握した上で自分なりの読み聞かせができるように支援した。

3 実践の成果と課題

- 自分の考えを自信をもって発表するために、ペアでお互いの意見を伝え合う学習は、有効であった。
- 少人数の児童から多様な考えを引き出し、さらに深めるために、教師が一人一人の思考を認め、称賛することによって、伝えたい意欲が増し、話し合いが活性化した。
- 単元を貫く言語活動として並行読書を行い、『幼稚園児への紙芝居の読み聞かせ』を計画し、実践したことにより、児童一人一人が学習に対する満足感を得ることができた。
- 今後も少人数教育の意義を意識し、そのよさや利点を最大限に生かし、児童の考えをつなぎ広め深める教師のコーディネート意識しながら、思考力・判断力・表現力の一層の育成を目指し研究を深めていきたい。



【幼稚園での紙芝居、大成功！】